



環境と人間のふれあい館

新潟水俣病学習 サポーター事業のご紹介

経験豊富な講師陣が無料でサポート！



新潟水俣病を
正しく伝えたい
と思っている
先生のお手伝
いをします

元新潟水俣病教師用指導資料作成委員会メンバーを中心とした教職員OB等が直接学校に出向いて、授業の準備段階からお手伝いします。
教職員の人権研修にも御活用いただけます！

新潟県立環境と人間のふれあい館
-新潟水俣病資料館-



〒950-3324

新潟市北区前新田字新々囲乙364-7

お問合せ先

電話：025-387-1450

メール：fureai@abeam.ocn.ne.jp

申込方法

環境と人間のふれあい館に「新潟水俣病学習派遣申込書」を提出してください。
こちらで審査を行った後、御連絡いたします。
様式は下記ホームページからダウンロードできます。

- 新潟県__分野別__健康福祉__衛生・動物愛護__新潟水俣病関連情報__新潟水俣病に関する学習・環境学習等__新潟水俣病学習サポーター事業のご紹介
<https://www.pref.niigata.lg.jp/sec/seikatueisei/2020supporterjigyoku.html>
- 新潟県立環境と人間のふれあい館
<http://www.fureaikan.net/>

これまで行ってきた『授業づくり』を紹介

- ・実際の授業計画へのアドバイス、ゲストティーチャーとして来校する際の内容検討
- ・要望に添った講師や資料の紹介（コーディネート）
- ・授業の中での講話、子どもへのアドバイス（ゲストティーチャー）

【具体例(3クラスを2グループに分けての授業スタイル)】

- ① 教員とサポーターで授業計画を立てる。 →内容検討、アドバイス
- ② グループを分けて語り部の話を聴く。 →コーディネート、ゲストティーチャー
- ③ グループで行った授業の後に全体で交流授業(情報交換)を行う。

《上記の授業を行った学校からの報告》

学年全体が混ざってのグループ交流をした際、「差別や偏見をなくすために」というテーマで話し合いを行った。そこでは、自分との違いを比較することや、勝手な思い込みが差別につながることに気がついた子どもが多くいた。また、差別や偏見がなくなるのはなぜかを話し合い、正しい知識を持つこと、困っている人を助け、支える立場になることが大切だと、どの子どもも自分の言葉で話す姿が見られた。



被害者団体が主催する作文コンクールを紹介すると、参加に意欲的な子どもが多くおり、現在、出品するために一生懸命執筆している子どもがいる。また、出品はしないけれどワークシートに整理してまとめている子どももいる(発信は多様)。

子どもにとってよりよい学習につなげることができた。

これまで行ってきた『職員研修』を紹介

- ・新潟水俣病の概要（原因、発症のメカニズム、最近の認定状況等、県・市の対策、現地学習等の紹介
- ・語り部DVDの視聴（患者さんの具体的な話）
- ・授業づくり（指導資料の活用、ふれあい館の活用）

《職員研修におけるアンケートより》



- ・大変わかりやすくお話しいただき感謝しております。職員一人ひとりが水俣病について理解を深めるとともに、どのように子どもたちに教えていったらよいかを考えるきっかけになりました。
- ・3年前に環境と人間のふれあい館で学ばせていただきましたが、繰り返し繰り返しこのような研修がないと意識が薄れてしまうので、よい機会でした。
- ・被害者の方がどんな差別をうけてきたか、どのように裁判を進めてきたのか詳しく知ることができた。また、授業で使える資料を教えてもらえてよかった。